

令和2年11月20日実施

近鉄四日市駅周辺の交通結節点整備、近鉄四日市駅・JR四日市駅周辺整備事業の要望活動について

1. 要望内容

- 近鉄四日市駅からJR四日市駅間の中心市街地に、バスタを含む一大広域交通拠点を創出するためのバスタプロジェクトの早期事業化
- 近鉄四日市駅及びJR四日市駅を結ぶ中央通りにおいて、「新たな日常」の実現に向け、居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかの形成を強力に推進するための令和3年度以降の予算の確保

2. 要望先

国土交通省 道路局

次長 宇野 善昌

国土交通省 都市局

局長 榊 真一

官房審議官(都市) 望月 一範

官房審議官(都市生活環境) 古澤 達也

官房技術審議官(都市) 渡邊 浩司

財務省

副大臣 伊藤 渉

3. 要望参加者

四日市市長 森 智広

4. 要望時の概要

四日市市は二十日、国土交通省と財務省を訪れ、「近鉄四日市駅周辺の交通結節点整備」と「近鉄四日市駅・JR四日市駅周辺整備事業」について、要望活動を実施した。

国土交通省では、森智広四日市市長が、宇野善昌道路局次長と面会し、積極的な企業活動により製造品出荷額が伸び続けており、四日市市を訪れる来街者も増えてきている。2027年のリニア中央新幹線の東京一名古屋間の開通までに近鉄四日市駅からJR四日市駅を結んで中央通りのまちなかの整備を完成させたい。そのためにも、四日市バスタの早期事業化をお願いしたいと要望した。

宇野善昌道路局次長は、四日市のバスタは国交省と共同で調査を行っている全国で4例の中の1つであり、国交省としても積極的にかかわっていくので、是非とも成功させ、地域活性化に繋げてほしい。国交省とタッグを組んで、モデルケースとなるよう頑張ってもらいたいと応えた。

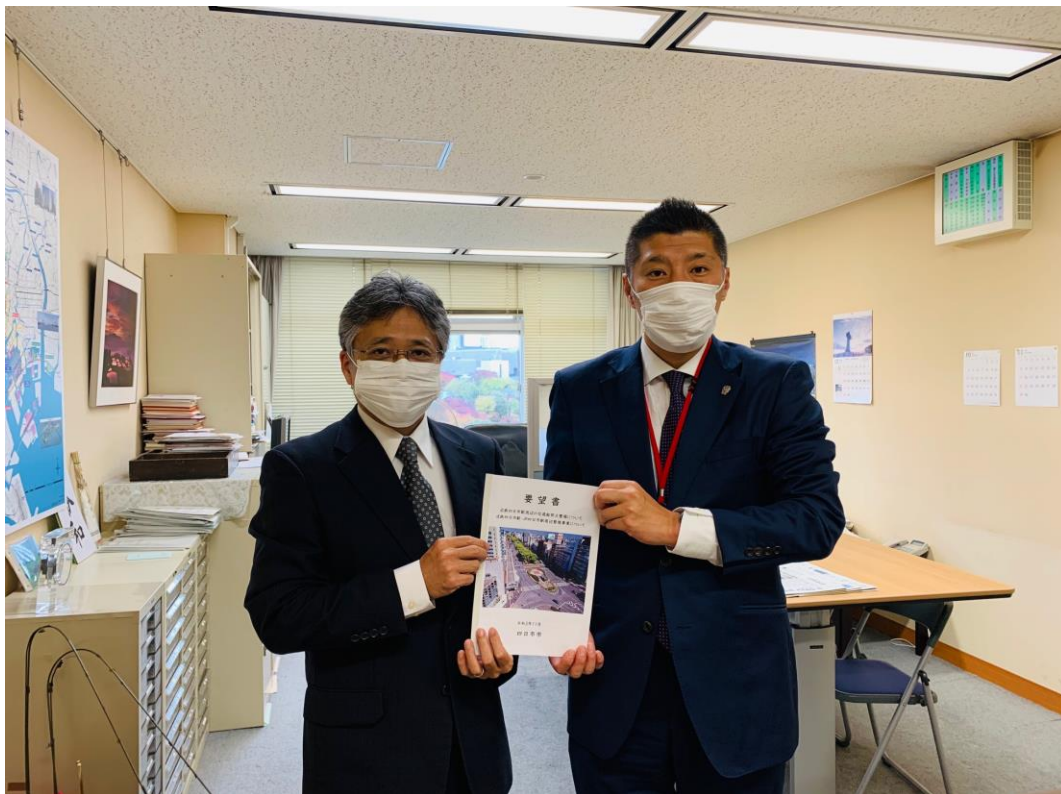


望月一範都市局官房審議官と渡邊浩司都市局官房技術審議官との面会では、近鉄四日市駅及び JR 四日市駅の駅前広場整備、ペDESTリアンデッキ整備、両駅間を結ぶ、1.1km にわたる幅 70m の中央通りの歩行空間の整備に計画段階から支援いただいで事業を進めている。引き続きリニア開通までに整備が完成できるように支援をお願いしたいと要望した。

望月一範都市局官房審議官は、ウォークブルなまちづくりということで、国の支援メニューを早速活用いただいでおり、国土交通省としてもしっかりと応援させていただくので、計画的に事業を進めてほしい。渡邊浩司都市局官房技術審議官は、日本各地で駅前広場等が更新時期となっている。ウォークブルなまちづくりということで、我々としても応援し甲斐がある事業であり、しっかり推進して欲しいと応えた。

また、それ以外に、榊真一都市局長、古澤達也官房審議官に直接要望書を手渡し、支援を要望した。

榑真一都市局長



望月一範都市局官房審議官



古澤達也官房審議官(都市生活環境)



渡邊浩司都市局官房技術審議官



次に財務省では、伊藤渉財務副大臣と面会し、2027年のリニア中央新幹線の東京―名古屋間の開通のインパクトをまちの活性化に反映していくためには、何としても、それまでに一定のまちなか整備を完成する必要がある。そのためにも予算の確保が重要であり、防災・減災、国土強靱化に関わる予算を是非確保していただき、四日市のまちなかの整備に必要な予算についても配慮をお願いしたいと要望した。

これに対し伊藤渉財務副大臣は、企業投資などで四日市市が活気がある中で、近鉄四日市駅からJR四日市駅までの大プロジェクトに取り組んでいることはしっかりと理解した。我々も国土強靱化にかかる予算を含めて確保に向けて努力していくので、是非頑張ってくださいと応えた。

